

目次

序章「救護施設等のあり方に関する有識者会議」について	1
第1章 市所管施設の変遷と現状	4
市所管施設の変遷	5
市所管施設の状況	6
第2章 調査結果	7
調査概要	7
1. 救護施設の利用者像	8
2. 救護施設が果たしている機能・役割	15
3. 入所前と退所後の支援の状況	23
4. 市所管救護施設の建物や設備の状況	40
5. 救護施設と保護の実施機関の状況	44
6. 大阪市と全国(他都市)の比較	53
7. 市所管救護施設の利用ニーズ	63
8. 定期建物賃貸借契約施設の状況	65
第3章 分析	69
1. 救護施設の利用対象者像をどう捉えるか	69
2. 救護施設が果たすべき機能・役割は何か	70
3. 入所前と退所後の支援における課題は何か	71
4. 市所管救護施設の建物・設備に関する課題は何か	72
5. 保護の実施機関との連携に関する課題は何か	73
6. 大阪市と全国(他都市)の救護施設の違いから	74
7. 今後の市所管救護施設の利用ニーズをどう捉えるか	75
8. 定期建物賃貸借契約施設の活用方法について	75
第4章 提言	76
提言1「多様な背景と困難を持つ利用者に対応可能な施設づくり」	76
提言2「安定した施設運営の実現」	76
提言3「段階的な個室化や設備改修の推進」	76
提言4「救護施設と保護の実施機関における連携強化と専門性向上」	77
提言5「定期建物賃貸借契約施設の継続活用」	77
提言6「“大阪モデル”の普及と推進」	78